

ス

第十二條 組合員正當ノ事由ナクシテ前條ノ組合費納付ノ義務ヲ怠ルコト六月ニ及ビタルトキ又ハ刑事上ノ犯罪其他不法行為アリタル報告ハ其事實ヲ審査シ評議員會ノ決議ニ依リ除名スルコトアルベシ

第十三條 組合員ニシテ第七條ノ行為及前條ノ犯罪又ハ不法行為ヲ爲サントシ若クハ爲シタル者アルコトヲ知リタルトキハ直チニ其責任組合ニ報告スベキモノトス

第五章 組合役員

第十四條 本組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長	一人
組合副長	二人
部長	甲板部 二人 機關部 二人
司厨部	二人
部員	若干
主事	二人
會計	二人
書記	若干
評議員	若干
幹事	各船各部 一人
顧問	若干

本條ノ役員中組合副長、部長、主事、及會計係ハ經費ノ都合ニ依リ之ヲ増減スルコトヲ得

第十五條 組合長、組合副長、部長、評議員ハ組合員中ヨリ總會ニ於テ選舉ス但シ創立ノ當初ニ限り選舉ニ依ラズシテ創立委員中ヨリ之ヲ定ム部員、主事、會計係、書記以下ハ組合

昭和六年五月六日
1931/5/6

長之ヲ任免ス

幹事ハ船内各部組合員ノ投票ニ依リテ選舉シ組合長ノ承認ヲ受クル事ヲ要ス

第十六條 組合長ハ本組合ヲ代表シ本部ニアリテ組合一切ノ業務ヲ統管ス

組合副長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ニ代ハル

組合長及組合副長事故アルトキハ高級部長之ニ代ハル

部長ハ組合長ノ命ヲ受ケ部員ハ部長ノ命ヲ受ケ各所屬ノ事務ヲ處理ス

主事ハ組合長、組合副長ノ命ヲ受ケ組合ノ人事、給與文書ノ保管及往復、其他調度、總務ニ關スル事務ヲ處理ス

會計主任ハ組合長ノ命ヲ受ケ金銭ノ出納、保管其他會計ニ關スル一切ノ事務ヲ處理ス

書記ハ所屬部長、主事及會計主任ノ命ヲ受ケ諸般ノ事務ヲ取扱フ

評議員ハ名譽職トシ組合長ノ諮問ニ應ジ及業務ノ執行並ニ財産ノ狀況ヲ監査ス

日本海員組合趣旨及綱領

趣旨

今ヤ社會ノ大勢ハ恰モ潮ノ湧クガ如ク滔々トシテ全世界ニ亘リ各國民衆ノ覺醒ヲ促シ數中各國民衆中最大多數ヲ占メラ居ル勞働階級ハ何レモ異口同音ニ平等生存ノ權利トシテ其境遇ノ改善福利増進ヲ叫ビテ居ルハ人類ノ社會トシテ當然ノ叫ビテ居ルコトハ明瞭ナルベキ事アル所ニシテ此ノ大勢ハ到底人力ヲ以テ阻止シ得ヘキモノニ非サルコトハ明瞭ナル所ニシテ吾人ニシテ一俟此種機ヲ逸シ苟モ大勢ニ順應スルノ策ヲ思フタラバ夫レコト由々歟若シ吾人ニシテ海員共同ノ福利ハ永遠ニ實現シナイイカモ知レバ故ニ吾人此ノ際斷乎トシテ從大事ニシテ今日主義ヨリ脱シ思ヒ切ラ覺醒シテナクテレバ然ラズ然ルニ今日ヤザ既ニ覺醒ノ緒ニ就キタリト信セラレシ歐洲方面ノ列國中現ニ一國ヲ舉グテ或ハ全ク破壊ノ混亂状態ニ陥リ國民衆ヲ塗炭ノ苦ミヲ受ケ殆ド救拾スヘカラサル悲境ニ沈ミ或ハ將ニ同一ノ状態ニ瀕セントスル實例分明ニ吾人眼前ニ示サレテ居ル吾人深ク之ニ鑑ミ苟モ輕率妄動シテ覺醒ノ方向ヲ誤ラザルヲ要ス

吾人海員アル而カモ我海運ノ中堅トシテ最大多數ヲ占メラ居ル普通海員アル元來海運ハ我島帝國ノ爲メニハ實ニ立國ノ根本トモ謂フヘキ大切ノ機關ニシテ一國ノ國家の經濟觀ノ第線ニ立チテ活動シ、アリテ其ノ貢獻スル處ハ直接ニ國家ノ利益ヲ擁護増進スルノ衝ニ當リ間接ニハ世界共通ノ利益ニモ亦共鳴シテ居ルゾアル所ノ如キ重要ナル機關ノ直接運轉ノ原動力ヲアル吾人海員ノ使命ハ實ニ重大ニシテ其勤勞ハ眞ニ艱辛ノ事業ナル然ルニ海員ノ海上生活ハ如何ニモ荒唐無聊ニシテ人生ノ生活トシテ餘リニ不自然ナル素業船内ニ在リテハ常ニ規則の繁劇ノ勤務ニ従事シ其ノ擔任スル處ハ一八ノ職ニシテ容易ニ他人ヲ以テ補充シ難キ重要ノ地位ニ在ルゾアル加之人生感癖ノ第一義トモ謂フベキ家庭の團圓ノ樂及社會の慰安及山河草木ノ自然ノ常觀スルノ機會ヨリ遠クアリ舞々非普通休息ノ時間アリト雖モ之レトモ不十分ニ充テシテ風暴濤其他ナル船室ニ起ル事ノ爲メニ休息安眠スルコト能ハザル而バナラズ時ニ寒天暗夜ニ飛ビ出シテ臨時ノ出來事ノ爲メニ非普通休息ノ時間アリト雖モ之レトモ不十分ニ充テシテ風暴濤其他ナル船室ニ起ル事ノ爲メニ非普通休息ノ時間アリト雖モ之レトモ不十分ニ充テシテ風暴濤其他

一種變態ノ慘ムナル生活アル之ヲ陸上勤務ニ從事スル人々が假令日ノ勞苦ハ大ナル輕重ナシトスルモ其餘暇ハ家庭ニ歸リ團圓ノ裡ニ終日ノ勞苦ヲ慰ムル社會の娛樂機關ヲ四重ナクシテ山河草木ノ自然美ニ對スル食觀ノ機會ニ當リ朝夕ニ新鮮ナル食物ヲ味ヒ如何ニ雨風強クモ休息安眠ヲ存カサレ極風暴雨一命ヲ賭シテ怒ト闘フガ如キ危險ヲ冒スノ必要ナク常ニ屋内ニテ働キ寒暑ノ變化自定アリテ自然の氣候ノ天運ニ浴シ得ル人々ノ境遇ニ較ブレバ其ノ勤勞ノ懸隔實ニ霄壤モ當テラザルゾアルゾアル是ハ全ク海員ガ職業ノ特性ヲ單ニ生活ト謂フ意義ノ外ニ眞ニ我島帝國海運ノ爲メニ操ヒテ、アラシク貴重ナル地位及生活ヲ果シテ之ニ相當ゾアル然ラバ即チ此ノ貴重ナル勤勞ニ對シテ多數海員ノ地位及生活ヲ果シテ之ニ相當ゾアル安定ノ境遇ニ在リヤト謂フニ決シテ然ラズ我海運方今日ノ隆盛ヲ致シタル歴史ニ照シテ海員ノ功績没スベカラザルモアラシクモ拘ラズ之ニ對シテ何等シキ國家的乃至社會的施設ナク之ヲ法律上ヨリ見ルモ又精神的乃至物質的立場ヨリ見ルモ甚ダ不安ノ地位ニ在ルゾアル是畢竟從來ノ海員ガ自覺ノ觀念ニシテ徒個人の今日主義ノ下ニ眠ラザルゾアル

67